

総合の時間、食品の安全について考える講習会を行いました

11月11日（水）の6校時目、郡山市保健所生活衛生課の方に来ていただき、食品の安全について考える、「食品安全ゼミナール」を行いました。その中で特に、食品の安全についての具体的なお話を聞き、量によっては害となる可能性があるもの（塩、砂糖、ビタミンA、水、サプリなども）について知りました。また、食品添加物や農薬については、使用についての基準があり、それらが守られていることで食品の安全につながっていることなどを知りました。ちょうど家庭科の授業で行ったばかりのタイミングで、生徒達も難しい話ではありませんでしたが、熱心に受講していました。最後に学年を代表して、松崎結さんが「食品の安全は、身近な内容であり、今日学習したことを、普段の食生活の中で役立てます。」とお礼のあいさつを述べました。



講演の様子



演習場面



代表質問 坂下勇氣くん



阿部蒼太くん



お礼の言葉 松崎 結さん

「親」という字は、金八先生から・・・

た。あるお母さんが、「これまで子どもに手を貸しすぎてしまったかもしれません。少し見守るようにしたいと思います。」というような内容でした。小学生から中学生になり、子どもたちは確実に成長しようとしています。お子さんによっては既に反抗期に入っている場合もあるでしょう。みな必要な経験を繰り返しながら成長し、やがて親離れをしていきます。それでは今、「親」としての立場、つまり子どもさんとの間の立ち位置について少し考えてみたいと思います。かなり前の話になりますが、テレビドラマの「金八先生」で、なるほどと思ったことがありました。それは、改めて「親」という漢字を眺めてみてください。「親」という漢字は、「木の上に立って見る」と書きます。「木の上から見る」ということは、「我が子を少し離れたところから見守れる位置にいる」という意味です。辞書を開くと「真心が届く」とも記されていました。そう考えると「親」とは、決して放任ではなく、しかし何でも手や口を出しすぎる距離でもない、「絶妙な距離？」を取ることが大切なのかもしれません。しかし、時には距離を縮めてよく話を聞いてあげることも必要でしょう。時には遠くからじっと見守ることが大事な時もあるでしょう。どの距離にいても、親としての真心が届くことができる位置が必要なのだと思います。コロナ禍の現在において、様々な意味で人と人との「距離や立ち位置」のことで考えさせられますが、親子間の立ち位置について、皆さんはどう思われるのでしょうか？

親

定期テストに向けて、ラストスパート!

定期テスト（11月20日実施）1週間前になりました。よい結果に結びつけるには、よい準備が必要です。最高の結果に結びつけるには、最高の準備が必要です。今学期最後の定期テストです。全力で取り組んで欲しいと思います。自分の中で「過去最高に努力できた」と思える自分になってみましょう。「自分に打ちかて！」

来週の行事予定

※ST：スーパーティーチャー、SC：スクールカウンセラー

日	曜	時程	給食	主 な 行 事 等	完全下校時刻
11 / 16	月	B	○	1 2 3 4 5 6 ST来校	18:00
17	火	A	○	1 2 3 4 5 6 部休日 SC来校	16:15
18	水	A	○	1 2 3 4 5 6 集金日 部休日	16:15
19	木	A	○	1 2 3 4 5 6 集金日 部休日	16:15
20	金	A	○	1、2年定期テストⅢ 3年実力テスト ST来校 【1年】①社会 ②英語 ③理科 ④国語 ⑤数学 の順番	17:30

お知らせとお願い

- 11月7日（土）は「第2回資源物回収」のご協力、ありがとうございました。朝、部活の時に持参してくれた1年生もいました。
- 今後とも、感染症対策（検温や体調の確認・記入、マスクの着用、手洗い・消毒等）にご協力ください。まだまだ気を緩めず、対策を継続させていく必要があります。また、体調管理にも十分注意させてください。